

理事長に就任するにあたって

石田直章

この度、吉田進理事長の定年による退任を受け、2021年10月1日付で理事長に就任いたしました。

皆様ご承知の通り、日本パラ・パワーリフティング連盟の歴史は吉田進前理事長が吉田寿子事務局長と共に築き上げたものであり、私はその後任として、連盟の運営に精励することとなり、その重責に身が引き締まる思いでございます。

東京パラリンピックが終わり、「東京までの支援」や「自助努力」などといった言葉を耳にし、他方では新型コロナウイルスの影響で先が見えない時期を迎えています。その中で連盟をさらに強く安定した組織にしていくことは、並大抵の事では無いと心得ております。そこで理事長就任にあたり、以下私の意向を申し上げます。

先ずは、2024パリ大会に向けて、競技力の強化を行うことを連盟の第一義的な役割として位置付けます。その為には吉田進ヘッドコーチ監修のトレーニングプログラムを全てのコーチ・選手が深く理解し、これを中心として、連盟一体となって科学的トレーニングを推進する所存です。

また、連盟として優れたコーチの育成、増員を目指します。定期的なコーチのミーティングや勉強会を実施し、各選手に特徴的に認められる身体特性・障害特性の理解や個別の環境を考慮した、きめ細かなトレーニングプログラムへの理解促進を図ります。

加えて、連盟のコーチが各選手に最適なトレーニングを提供できるよう、実践を進めてまいります。その際には連盟の認めるトレーニングプログラムを中心的な柱といたします。

各選手の経験年数やトレーニングメソッド習熟度に違いによって、様々な誤解や疑問が生じ得ることと存じます。選手とコーチが共に、根底となる連盟の方針と日々のトレーニングプログラムを照らし合わせ、チーム全体で納得のいくトレーニングを推進できるよう努力いたします。

さらに、連盟活動の円滑化を目指し、十分な資金の獲得を目指します。従来は吉田寿子事務局長を中心とした資金獲得体制を基盤に、選手の活動が行われてまいりました。今後も公的な資金に加えて、企業様からのご支援を頂けるよう、理事長として一層の努力に励む所存です。

連盟の役割は選手の強化・育成に加え、パラ・パワーリフティングの啓発・普及にも及びます。2020東京大会では残念ながら競技のテレビ放映がございました。多くの国

民にパラ・パワーリフティング観戦を切望していただけるよう、更なる啓蒙と普及に尽力してまいりますので、お力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

また、連盟の発足当初から韓国との交流が行われており、韓国での合同トレーニングも隔年で行ってまいりました。引き続き海外における強化合宿の継続を図ります。連盟はこれまでも国際試合に多数参加し、経験を積んでまいりました。今後も海外のより良い環境下での合宿と交流を一層促進することで、多様な条件や異なったトレーニングメソッド等の経験の獲得を目指してまいります。

また、国内におきましても合宿地の拡大を図り、異なる環境でのトレーニングの実践機会を新たに設けて行く所存です。

以上、徒然と書き綴りましたが、連盟発展に向けて果たすべき理事長としての役割は多岐に亘るものと覚悟しております。ベンチ台の上では一人で戦わなければならない競技者を、日本パラ・パワーリフティング連盟がチームとして支え、強化を諮ってまいります。今後の発展に向けて、役員、コーチ、選手の皆様にも、引き続きお力添えを賜りますようなにとぞお願い申し上げます。